

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 公表日 | | | |
|--------------|---|------------|-----|-------------------------------|--------------------------------------|
| マイステージひまわり梅香 | | 2025年1月31日 | | | |
| | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| 環境・体制整備 | 1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 6 | 0 | 怪我がないように物の配置を工夫しています | 2023年1月より事業所移転を行い、さらに安全に過ごせるようになりました |
| | 2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 6 | 0 | 専門職の配置 | 理学療法士や音楽の先生など多様な資格や経験者を配置 |
| | 3 生活空間は、こどもにわかりやすく、構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 6 | 0 | 空間を分けて利用できるようにしている | 人数が多い際の対処など、視覚的な情報を取り入れるようにする |
| | 4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 6 | 0 | | より分かりやすい視覚情報を取り入れていく |
| | 5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 6 | 0 | | |
| 業務改善 | 6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 6 | 0 | 毎週の業務改善会議 | やるべき仕事の明確化を図っています |
| | 7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 0 | 個別でのやり取りと共有 | 情報のフィードバックをおこない、スタッフ全員で改善を行っています |
| | 8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 6 | 0 | HPで公表 | 保護者へはQRコードで配布 |
| | 9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 4 | 0 | 福祉関係に強い人材に評価 | 外部からの研修時に評価をいただいています |
| | 10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 6 | 0 | 様々な研修と資格取得支援 | スタッフの資質向上のための資格取得支援や研修の実施 |
| 適切な支援の提供 | 11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 6 | 0 | 特性などに合わせて公表している | |
| | 12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 6 | 0 | 計画を立てて実施している | |
| | 13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 6 | 0 | 月に一度は個別支援の会議で検討を行っている | |
| | 14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 6 | 0 | 日々、情報共有とプログラムについての話し合いを行っている。 | 見直しなどを行い、適切な支援を心掛けている。 |
| | 15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 6 | 0 | 大阪市指定の書式 | |
| | 16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 6 | 0 | 専門職が監修し作成 | 障害特性を理解し、担当を決めてより深く支援内容を決めています |
| | 17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 6 | 0 | 一か月に一度は見直し | |
| | 18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 6 | 0 | 療育担当の専門職が対応 | |
| | 19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 6 | 0 | 子どもの特性を配慮して実施している | 午前、午後で個別や小集団など、個々の特性を理解して実施 |
| | 20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 6 | 0 | 障害特性により、かかわり方を選定 | 朝のミーティングで採集の打ち合わせを実施 |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|---|---------------|----------------------------------|---|
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 6 | 0 | 終礼時のミーティングで共有している | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 6 | 0 | 日々の療育会議でまとめながら方針を決定 | 会議の時間を作り、定期開催を意識する |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 6 | 0 | 保護者との相談支援の後に個別支援会議を開けるように調整している。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 6 | 0 | 児童発達支援管理責任者もしくは療育担当者が参加している | 適材適所で参加できるように日程調整などをしていく。 |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 6 | 0 | 通所している児童の関係各所との連携を行っている。 | 保育園や市役所との連携はあるが、病院などとは連携を行った事例がないので今後改善していく |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | 0 | 事業所間での情報共有などを積極的に行っている | 文章だけでなく、視覚情報なども利用して連携をとっていく。 |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 6 | 0 | 利用情報の共有 | 支援計画や障害特性など情報共有を図っている |
| | 28 | (28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |
| | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 4 | 2 | 障害特性に合わせて、かかり方や対応などの情報共有などを行っている | 今後も継続して行う必要がある |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 2 | 4 | | 今のところ、交流できる機会はない |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 6 | 0 | 日々のやり取りで実施 | 定期的な聞き取りを実施していく |
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 3 | 0 | 必要があれば実施 | 相手の状況を見て、提案していく |
| 保護者への説明等 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 6 | 0 | | 読み合わせを行う |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 6 | 0 | 事業所内相談など | 計画書を作成時にはチェックを行い、保護者様の意向に沿った計画を立てる |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 6 | 0 | 読み合わせで実施 | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | 0 | 事業所内相談などで実施 | 定期的な声掛けで実施しやすい環境を作っている |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 5 | 0 | パパママカフェを開催 | 不定期で開催になり、来られるメンバーも固定のため改善が必要 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 6 | 0 | 電話やオンライン、事業所など選択肢を準備している | 相手に合わせた相談スタイルを作っていく |
| 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 6 | 0 | 毎月の取り組みや行事を配布 | わかりやすい資料を継続的に配布できるようにしていく | |

| | | | | | | |
|---------|----|---|---|---|-----------------------|------------------------------|
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 6 | 0 | 使用許可をとれるようにアンケートなどを実施 | 個人情報の漏洩が無いうようにリストにして管理 |
| | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 6 | 0 | 視覚情報などの工夫を行っている | 音声などほかの支援法も検討していく |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 0 | 6 | | 個人情報の観点から保護者様への理解をこれからも深めていく |
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 6 | 0 | 避難訓練などを定期的に実施 | マニュアルの作成とともに実施を行っている |
| | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 6 | 0 | 訓練の定期的な実施 | 療育プログラムでも実施 |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 6 | 0 | チェックシートの作成 | 更新頻度の確認を行う |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 6 | 0 | チェックシートの作成 | まだ医師との連携はない状態です |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 6 | 0 | オンラインやリアルでの研修実施 | 研修や確認を実施している |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 6 | 0 | アセスメントシートの作成 | 周知徹底を実施 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 6 | 0 | 事例ノートの作成 | 事例検討会を開催し、崔辰予防などに取り組む |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 6 | 0 | 研修の実施 | オンライン研修の導入 |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 6 | 0 | 研修の実施 | 事例がないが、架空の事例で検討する機会を多く作っていく。 |